

## 審議会等の会議結果報告書

【担当課】 文化財課

会議の名称	令和4年度 第2回茅野市博物館協議会		
開催日時	令和5年2月10日（金）午前10時00分～午前11時15分		
開催場所	八ヶ岳総合博物館 講堂		
出席者	河村洋委員長、白鳥保美副委員長、小林俊男委員、武居三男委員、両角紀子委員、松本光夫委員、田中正行委員、五十嵐みどり委員、大勝弘子委員、村松秀子委員、 山田利幸教育長、北沢政英生涯学習部長、五味健志文化財課長、山科哲尖石縄文考古館考古館係長、両角徹生八ヶ岳総合博物館長、正木美香同博物館係長、柳川英司同守矢史料館担当、		
欠席者	市川純章委員、野口幸子委員、田中克明委員、鶴飼幸雄神長官守矢史料館長		
公開・非公開の別	公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
生涯学習部長	1 開会 改めまして皆さんおはようございます。皆様におかれましては本日は、お足元の悪い中、お集まりいただきありがとうございます。それでは、ただいまから令和4年度第2回茅野市博物館協議会を開会させていただきます。どうぞよろしく申し上げます。		
教育長	2 教育長挨拶 おはようございます。昨日の天気予報ではここまでの雪にならない予報でしたが、朝の8時すぎからどンドンと降り始め、そんな中お集まりいただき、本当にありがとうございます。コロナの方も一応これで3月・5月で、新たな方向が出ると思いますが、この3年間、皆様方のお力で博物館活動を十分にできたと思います。本当にありがとうございます。聞く話によりますと、全国の博物館のいくつかは閉鎖された、或いは、活動が縮小されたということを知っています。そんな中で、茅野市の誇る3つの博物館が、ますます勢いを増してやってこられたこと、本当に皆さまのお力だと思えます。そんな中で、私の思い出に残る活動をちょっとご紹介したいと思います。10月9日に尖石縄文考古館で開館70周年の記念シンポジウムが開催されました。新たな賞をいただいた方もいらっしゃいましたが、小林達雄先生が病気を押して見えられて、賞の講評だから予定だと10分くらいだったのですが、40分間にわたって自分の尖石に対する思いをお話しされました。ものすごく感動的で、是非これを伝えていきたいと思いました。それから、11月19日に、河村先生のお力で、ありがとうございます。信州天文文化の100周年のシンポジウムがありました。土井隆雄宇宙飛行		

	<p>士がお話をされたのですけれども、あのお話を聞いて1週間はとてもおおらかな気持ちになり、地球規模の話をしていますから。一週間たったらまた戻っちゃうたりして。また、話を聞きたいと思いました。でも、また、新たな見方、考え方をちょっとでも知ることができて、天文が専門でない私には、とてもいい刺激になりました。そして、長野日報にも載っていますが、先日になりますが、守矢史料館、守矢早苗さんから、2,207点の古文書が寄贈されました。中世の物が150点以上まとまっているということで、現物を何点か見させていただきましたが、全然読めない、ちんぷんかんぷんなのです、もしあれが一つ一つ読めたら、面白いかな。それから、古文書と一緒に火災の時に焼け残った瓦というか、土器も展示してあって、いろいろ繋がりました。簡単に3つの博物館の紹介をしましたが、コロナ禍でありましたが、皆さんのおかげで活動できたと思います。そしていよいよアフターコロナにむかってどんな博物館を作っていくか、是非皆様方からご意見を出していただけたらと思います。今日はよろしくお願ひします。</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 審議会等の会議の公開について  協議に先立ち、茅野市博物館協議会設置条例について事務局から説明。  協議に先立ち、協議会の公開について事務局から説明。  ～資料1、資料2の説明～  本日の会議の公開、議事録の公開について説明及び確認を行い、非公開基準に該当する項目はないため、当会議を公開とします。議事録に関しては、委員名を表示せずにホームページで公開します。  (承認)</p> <p>(2) 各館令和4年度事業報告について  資料に基づき、年間事業報告について事務局から説明を行う。  ・尖石縄文考古館(考古館係長)</p>
委員長	<p>全体として難しい中運営していただいたと思います。さきほどのお話で特に印象深く思ったのはライブ配信とか、アーカイブとかそういうことを始めておられる点です。これは去年からやっているのですか。</p>
考古館係長	<p>今年からですね。実は、アーカイブ配信も茅野市の公式YouTubeのチャンネルを利用してやったのですけれど、それを所管している部署が本庁の広報担当の部署になります。ライブ配信した後、一ヶ月のアーカイブ配信ということで、ずっと配信できるわけではないというところなのですが、これを改善、例えば常に見られるという状況ができればなおよいかというところがございます。</p>
委員長	<p>コロナというのは、なかなか難しいことが多いのですが、こういう新しいことが始められる一つのきっかけになると思います。たとえば私が関わった大学でも、自宅でも授業を受けられるようにネット配信できるように、コロナ前から文科省からの指導があったのですが、なかなか実現しませんでした。いっぱい仕事があってもなかなかそうはいかないのでしょうか</p>

考古館係長	<p>れど、こういうことがきっかけで、良きにつけ悪きにつけ、リモートの授業がすすみました。これなどが、コロナがもたらした一つの新しい動きだと思います。ライブで配信する準備をしなければいけません。その流れでいうと、そのサークルボランティア活動は、そういうのは使える可能性があって、また新しく参加するきっかけになるのではないかと思うのですが、その分野のリモートはどうですか。</p>
委員長	<p>サークルとボランティアにつきましては、オンラインで活動するというの は考えていません。というのもサークルというのは当館を活動の拠点として土器づくり・土偶づくり、縄文時代の編み物を復元するというような活動をされている皆さんなので、実習活動というようなところがござい ますので、オンラインというよりはフィジカルというかですね、実際皆さん集まってその場で、そろって活動するという状況です。その辺はまたサークルの方たちと相談しながらということになるのですが、実は、考古館の館内の電波環境があまりよくないという状況がありますので、そういったところで、やっぱりサークル活動としては、館としては、現場での活動、いうことで考えています。</p>
考古館係長	<p>大学でも実験についてはリモートでやむを得ずやるわけなのですが、サークルでは顔を合わせることを大切にしておられるということがよくわかりました。しかし、この機会に考えるきっかけになったのではないのでしょうか。それから、学校に対しての、オンラインの、講義・講演の配信はどうなっているのでしょうか。延べ12回のオンライン配信を含むとありますが。</p>
委員長	<p>1月26日に、オンラインで、教室に繋げて。生徒さんの質問に答えるという形でやったのが、1回だけあります。それ以外は、全部学校に出向いて、やっていました。昨年度はオンラインではないのですが、考古館にビデオを撮りにきて、それを教室で上映するというような活動もありましたので、そんな形で、対応はできるということです。今回ちょっと学校とオンラインでやったときに、一回つないだ後に動かなくなってしまって、3回目で、ようやくうまくいく状況でしたので、オンライン機器はそろっているんですけども、やってみたら固まっちゃうという状況を、どうにかしなきゃいけないと思いました。</p>
委員	<p>いろいろ難しいことがあるかとおもいますが、これきっかけに学校に対する配信なんかは改善していただきたいと思います。</p>
考古館係長	<p>尖石縄文考古館の土器サークルから来ました。YouTubeの公式チャンネル、オンラインライブ配信をしたということなのですが、これ、どのぐらいの告知をなされたのか。実は私知らなくて、拝見することができませんでした。どのぐらいの媒体を使って、告知されたのかっていうのを、今後の参考としてお伺いしておこうかと思うのですが。新聞であったり、ホームページであったりということでしょうか。</p>
委員	<p>ホームページとラインのセグメント配信を使ったと思います。時間的に余裕のあるタイミングで出せたという感じでもなかった。充分に関心のある方に知れ渡るだけの時間と方法ではなかったという状況でございます。これは館の反省でございます。</p> <p>せっかく、公式チャンネルでYouTubeが配信できるのであれば、例えば先</p>

<p>考古館係長</p>	<p>ほどおっしゃった、サークルなんか、そういうオンラインを使えないかというところに絡めてですね、以前からちょっと考えてはいたのですが、土器を作る過程を動画にして、配信するなんていうことをすると、YouTubeを見ているような年齢層の方に、興味を持っていただけるチャンスになるのではないかなと。これはサークルも参加できる距離の人たちに限らずになってしまうのですが、そういうことに興味を持つ人のすそ野が広がるのかなあとってはいます。ただ、そういうことをしようとする。当然お金がかかるとか、動画を撮影する、編集するということが必要になってくるので、簡単なことではないと思いますが、せっかく国宝2体もある、尖石の国宝なので、そういうふうに、遠くの人にも、近くの人にも、当然見ていただけるっていうようなものができたら、新たな展開になるのではないかなと思いました。</p> <p>ライブ配信でなければ、検討の余地があると思いますので、広報の方にごんな手順でやればいいのか、サークルさんにも相談をしていきたいと思えます。</p> <p>・八ヶ岳総合博物館（博物館館長）</p>
<p>委員</p>	<p>茅野市の校長会を代表して、御礼させていただきたいと思えます。先ほどの尖石のところでもそうだったのですけれども、館内見学、それから出前授業、本当に助かっております。そのおかげで、私たちの縄文科の学習が本当に進んでいる。一緒になってやらせていただいていることを感じております。ありがとうございます。また、同じように八ヶ岳総合博物館においても、小学生向けの講座そして博物館活用学習、こちらの方も活用させていただきました。なかなか茅野市のことを知らない教員も実は多くおまして、本当、茅野市には素晴らしい堰があるわけですがけれども、教員が知らないものを説明するってことは大変難しいわけでありまして。先ほど同じようにやった縄文学習もそうであります。私たち教員の、その専門を補佐してくれる、そんな形でサポートしていただきました。それぞれに関わって、御礼を申し上げます。以上であります。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>こういうコラボレーション、すばらしい活動ですね。</p> <p>県内、市内のすごい活動をお聞きしました。私は、(博物館のロビーで)はたおりにしておまして、県外のお客さんから、たまに、今、考古館にありますような、ミュージアムを(グッズについて)尋ねられたことがあるのですが、ここの博物館でも、通路のわきに一つのテーブルで図録を並べて販売なさっていますが、ここの博物館にはミュージアム(グッズ)らしきものがないんですね。だからちょっと何か、クリアファイルか、御柱祭関係の物、何かありますね。市内の方はそうお求めにならないかもしれませんが、県外から見た方は、ちょっと何かあればなというお気持ちがあるのではないかなと感じましたので。コーナーはありますので、ミュージアムのものがあればと思えます。</p>
<p>委員長 史料館担当</p>	<p>ミュージアムショップみたいなもの。まあ、ショップとは言わなくても何かグッズコーナーはおけないかということですね。</p> <p>茅野市の財政課で、基本的には市で発行したもの、作ったものしか売れな</p>

委員 委員長	<p>いことになっています。尖石縄文考古館の場合は、業者に委託をしていて、業者が販売する分に関してはよいのですけれども、直接ほかの、市以外で作ったものを販売することができないことになっています。博物館が業者に委託しようとしても、あまり来館者がいないので引き受けてもらえないと思いますし、それ用のスペースがございません。</p>
委員	<p>ちょっと寂しいですね。</p> <p>そういうお話もありますし、規定というのは市の身内で定めているのでしようから、市ともご相談のうえでは是非工夫をしてみてください。現在でも図録とかを置いておられますし、ご意見をいただきましたのでぜひご検討をよろしくお願いします。</p>
博物館長	<p>コロナ禍で、来館者が減って、活動自体、限られた人数の中でこれだけの活動をしていて、今年大分回復されてきたようで、ほんとうにごくろうさまでした。それで、いろいろと観察会とか、講座を設けているのですが、どうも宣伝が、というか、発信が少ないような、気がします。博物館のホームページを見てみても、ちょっとわかりづらい。あれをもう少し充実させていただくと。もう少しホームページを活用できないかなという提案なのですが。難しいですか？こういうことが調べられるよとか。</p>
委員長	<p>これは枠が決まっています、枠の中に入れていくわけなので、いろんなところに相談して研究してみたいと思います。ありがとうございます。</p>
副委員長	<p>先ほどもあった、こういう機会にネット配信など、こういうものを拡大する機会にもなりますので（ご検討ください）。</p>
博物館長	<p>21 ページですけれども、小中学校の博物館の活用学習について、10 項目、5 月 24 日から 2 月 14 日まで記載されていますけど、昔の暮らしについては、あれだけの坂本養川の堰の関係の展示がここにあるにもかかわらず、3 つの学校の利用では、少し残念だなと思います。私は今、玉川の大河原土地改良区の理事をやっているのですが、「坂本養川は、250 年前にたくさんの堰を作って、偉い人だった。」というところで一つの学習が終わっています。しかし、それを 250 年間維持管理している人たちが地元にいるというように、そこまでつなげる学習を、子どもに教えたい、紹介したいと思っています。大河原土地改良区でも、ぜひ地元の子どもたちにそういう、教育の場、伝達の場を与えて欲しいということが話題になっているのですよ。今月 16 日にも玉川コミュニティセンターでそういう人たちを集めて、何か子どもに還元できることはないかということで勉強会を企画しているわけで、そういう人たちと博物館がうまく連携できれば、坂本養川という立派な人が地元において、その大事なものがつながられて、今があります。今地元で稲作できているのは、このような人たちがいて、それが維持されている。実際、2 ヶ月に 1 回会議を持ったり、毎年 1 回、現地を 14 km 歩いて下草刈りなどをしたりしているので、何かそういうところでも繋がれば、子どもが、自分たちのおじいさんや、お父さんがあんなに苦勞してきているんだ、その苦勞があって今があるんだっていうようなところまで繋がった学習になればいいと思っています。玉川小の校長先生にもこの間この件についてお伝えしたのですけれども、何かうまくつながるようなことがあればいいなあと思います。</p>
	<p>やっぱりそうですよね、歴史を勉強するっていうのは、今にどういきてい</p>

教育長	<p>くかを学ぶことだと思う。ちょうど玉川小学校の先生もいらっしやるので相談してやっていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。</p> <p>坂本養川の事なのですが、かつて東京書籍の教科書に載っていたということがあったのですが、先日、ある会社と交渉して、坂本養川のあの教科書を全部デジタル化にして茅野市にくださいと、そうすると茅野市の子どもも見られるし、諏訪の子どもも見られるし。そしたら、10日も待ったら断られちゃって。著作権がどうたらこうたらで、写真を撮った人がどうたらこうたらで、あのなかに子どもが写っているからどうたらこうたらでと言われればしょうがないので諦めました。今、公の資料で残っているのが社会科の資料集ですが、あれはカラーではないのですよね。それで。もし博物館の方でやってもらえれば、何とか時間をかけて、博物館の活性化を…困るよね。まあ、カラー化ぐらいの方向でいいかなと思います。</p>
委員	<p>私米沢に住んでいるのですが、先日公民館報というのが配布されまして、公民館の教養部というところが単独で、任意書き取りというか、堰の研究をまとめたものが配布されました。私がここで申し上げたいのが、博物館の、今の堰の取組とかいろいろわかりますけれども、公民館も一緒に取り組んだ活動をしますと、一般市民に裾野が広がるのではないかなと感じています。私どもの養川の堰というのは、ウマザワの白樺湖の車山のすそ野を通過して、米沢の塩澤に流れたっていう、わかりにくいというか、だんだん川をまたいできている堰が私どもの堰。私も数年に一度当番が回ってきて、回ったりしているのですが、そういうことを公民館の主事、公民館長さんが必死になってまとめて公民館報に載せて各戸配布したというわけなのです。で、裾野を広げるためには今、公民館と博物館は別な活動をしていると思うのですが、一体になって、もうちょっとやれば活発になるのではないかなと。各公民館も今、どういうことをやろうかって考えているところもたくさんあるので、そういうところのヒントにもなるし、一緒に活動されればどうかという提案です。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。確かに公民館報っていうのは毎月の茅野の市報と一緒に配られていますよね。拝見しています。</p>
委員	<p>先ほど広報の話もあったのですが、いつ何をやるかなかなかわからない人もたくさんいるのではないかなと思います。</p>
生涯学習部長	<p>生涯学習部では、公民館の方も管轄しておりますので、そちらの観点から少しお話しさせていただきます。今おっしゃられたことは、まさしくその通りでございます。いわゆる地域の宝を、皆さんがどのように研究したり学んだりしていくかという、学びのきっかけになるかと思います。坂本養川の堰だけではなく、先ほどおっしゃられた、自分たちが苦勞して生活を守ってきたかということを研究すること、それは非常に大切なことで、公民館ではその地域のお宝 MAP だとか、そういったことを何か推奨するお手伝いをしています。そういったものと絡めたりして自分たちの地域はどういうふうになり立ってどういうふうこれから進んでいくということを、これからは自分たちでやっぱり研究していかなければいけない、時代ではないかなと思っています。で、やっぱり基本となるのは、分館ですね、各地区に、80分館ありますけれども、そういったところが活性化することによって、茅野市の市民力が高まっていく、そういった活動のお手伝いをし</p>

<p>委員長</p>	<p>たいと思っていますので、そのきっかけとして、博物館は博物館、公民館は公民館というのではなく、教育、生涯学習に携わる者がどうやってその勉強するかってことには研究の余地もありますし、また、みんなで知恵を出しあってかなければならないで、今貴重なご意見をいただいたので、部内会議で、どういったところで連携できるのか、それも学習部だけじゃなくて、市役所全体ですね、もう生涯学習は、すべてのことに関わることで、そんなようなきっかけを作っていきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>そういうこともきっかけということだと思います。また、検討いただきたいと思います。</p> <p>最後に、私からも。先ほど館長さんから土井さんの講演会の話がありましたが、わたくしもお手伝いさせていただきました。土井さんも大変喜んで帰られました。宇宙飛行士の話も、星の話も大変良かったし、沢山お集まりいただき、皆さんもこの地域における星に対する熱意を感じました。大変喜んで帰られました。ご主催をありがとうございました。</p> <p>・ 神長官守矢史料館（史料館担当）</p>
<p>委員長</p>	<p>来館者数が大変多くて良いと思うのですが、御柱の影響というのはあったのでしょうか。</p>
<p>史料館担当</p>	<p>御柱の期間中は、入場制限とかをしていたので、あまり来なかったです。ただ、5月全体でみると、来た方が多いですね。</p>
<p>委員長 史料館担当</p>	<p>むしろ大河ドラマの影響があったのですか。 こちらの方は反響がありました。</p>
<p>委員長 史料館担当</p>	<p>それは、良い企画だったと思います。 資料の販売も多いですね。</p>
<p>史料館担当</p>	<p>そうですね。御柱祭の企画展図録についても、総合博物館で180冊となっていますが、大半は守矢史料館での販売です。</p>
<p>委員長</p>	<p>全体として、幅広いご意見をいただきまして、良かったと思うのですが、最後に3館、あるいは博物館活動の全般に対して何かご意見はありますか。</p> <p>それでは、コロナ禍でなかなか難しいところ活動なされて、それをきっかけに新しいネットの活用とかネットの配信とか、そんな方にも向かっておられるということで、大変心強く感じました。ありがとうございました。</p> <p>(3) 茅野市博物館設置条例改正について (4) 茅野市八ヶ岳総合博物館管理規則改正について 博物館法改正に伴う茅野市博物館設置条例改正の改正と茅野市八ヶ岳総合博物館管理規則改正について事務局から説明。 ～資料3、資料4の説明～ 条例改正は3月議会に上程、管理規則改正は2月の教育委員会に上程します。 茅野市八ヶ岳総合博物館の管理規則改正について、入館券から削除される見学の注意喚起について、口頭や貼り紙で行うことを求められた</p>

<p>委員長 文化財課長 委員長</p>	<p>(承認)</p> <p>(5) その他 任期は2年ということで、このメンバーとしては今回で最後ですね そうです。特別なことがなければ今回が最後の会議になります。 この2年間ご協力ありがとうございました。今年度中はまだ任期が残って おりますので、何かありましたらよろしく申し上げます。どうもありが うございました。</p>
<p>副委員長</p>	<p>4 閉会</p> <p>今日は悪天候の中、本当に大勢の方にお集まりいただきましてありが うございました。ご審議ありがとうございました。これで博物館協議会を終 わりにしたいと思います。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">～午前11時15分 会議終了～</p>